

備として、新町においては、三つのネットワークの整備を進めていきたいと考えております。一つは地域情報ネットワークであります。新町全体に情報通信基盤としてのケーブルテレビ網を整備しようというものであります。二つ目は道路ネットワークであります。新町では、日常生活においても産業基盤としても、道路整備は最重要課題であります。一般国道303号線、417号線をはじめ、主要地方道である山東本巢線、春日掛斐川線や一般県道、町道、大規模林道などの整備促進を図っております。三つ目は公共交通ネットワークであります。高齢者や高校生など交通弱者に配慮した地域に最低限必要なサービスとして、近鉄掛斐線と樽見鉄道の利便性向上と利用促進を図るとともに、農業振興地域の拠点除外により住宅建築を促し、定住化を含めた近鉄掛斐駅、旧名鉄本掛斐駅周辺の整備やバスの体系の見直しを進めてまいります。

また、合併により新町の行政組織も大きくなってまいります。旧五村に振興事務所を設置するなど、住民サービスの低下に繋がらないよう配慮しているところではありますが、厳しい財政状況のなか、行財政改革は緊急の課題であります。最小の経費で最大の効果が上げられるよう早期に行政改革大綱を取りまとめ、行財政改革に取り組んでまいります。

「人づくりはまちづくり」と申し

ます。人と人が繋がって地域がくくられ、その地域の広がりやまちづくりになると考えております。私は広大な面積の新掛斐川町のまちづくりにおいては、住民の皆さまとの対話を通じ「人づくりはまちづくり」の観点に立ち返り、住民の皆さまの立場で考え、ともに歩む姿勢で町政を進めていく所存であります。

新掛斐川町が住みよい、元気のあまるまちとなるよう精一杯努めてまいりますので、町民の皆さまの格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとします。

宗宮町長初登庁

三月七日に宗宮孝生町長が初登庁され、正面玄関前では多くの職員が出迎え、新町長は花束で歓迎を受けました。



町長訓辞

三月七日午後六時三十分より、本庁、振興事務所などの職員に向け訓辞がありました。

職員一人一人が、言動や行動に責任を持って仕事をすること、地域づくりを推進するためにも、地域の活動に積極的に参加すること、縦のつながりだけでなく横のつながりを活かしてより一層よい行政サービスを行えるようにと訓示がありました。



樋口町長職務執行者 離任式

三月六日の掛斐川町長選挙に伴い、新・掛斐川町誕生から町長職務執行者を務めてきた樋口直嗣さんが三月六日の任期を前に離任のあいさつをしました。

「皆さんの協力もあつて三十五日間の任期を無事に終わらせることができました。新「掛斐川町」の行方は職員の皆さんにかかっています。事務業務は十分慎重に行い、役場が行う事業は町民の貴重な税金によって行われていることを忘れてはいけません。町民の立場に立った行政を行ってください。」と話され、職員から花束を贈られ、職員の暖かい拍手のなか、会場の中央公民館を後にされました。

樋口職務執行者 本当にお疲れさまでした。

